



東京税関管内貿易概況（令和5年12月分）速報

令和5年12月分の管内貿易概況（速報）について、輸出は、対前年同月比が7.3%増となり、10ヵ月ぶりに増加し、過去最大となった。輸入は、同0.4%増となり、9ヵ月ぶりに増加し、12月としては過去最大となった。

その結果、差引額は、9,558億円の輸入超過となった（195ヵ月連続）。

東京港
輸出は12月としては過去最大、輸入は7ヵ月連続の減少
輸出は、自動車の部分品、科学光学機器及び金属鉱・くず等が増加
輸入は、がん具類、IC及び魚介類・同調製品等が減少

成田空港
輸出は12月としては過去最大、輸入は10ヵ月連続の減少
輸出は、半導体等製造装置、医薬品及び内燃機関等が増加
輸入は、医薬品、白金族の金属及び原動機等が減少

羽田空港
輸出は11ヵ月連続の増加、輸入は10ヵ月連続の増加
輸出は、医薬品、有機化合物及び科学光学機器等が増加
輸入は、航空機類、バッグ類及び原動機等が増加

(単位：億円)

	輸出額			輸入額			差引額
	価額	伸率	全国比	価額	伸率	全国比	価額
管内	22,355	7.3%	23.2%	31,913	0.4%	33.3%	▲9,558
東京港	7,357	5.8%	7.6%	12,735	▲2.8%	13.3%	▲5,378
成田空港	14,408	8.3%	14.9%	16,578	▲1.3%	17.3%	▲2,170
羽田空港	395	2.2%	0.4%	1,377	164.0%	1.4%	▲982
全国	96,482	9.8%	100.0%	95,861	▲6.8%	100.0%	621
為替レート：税関長公示レートの平均値 令和5年12月分		米ドル換算	146.92円/米ドル	前年同月：137.90円/米ドルと比べ6.5%の円安			

注1. 本発表における港別の貿易額は、東京税関管内の次の官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額によるものである。
東京港（東京税関本関、東京外郵出張所、立川出張所、前橋出張所、大井出張所）、
成田空港（東京航空貨物出張所、成田航空貨物出張所）、
羽田空港（羽田税関支署）、
管内には、東京港、成田空港、羽田空港に加えて、新潟港（新潟税関支署、東港出張所）、直江津港（直江津出張所）、
柏崎港（柏崎出張所）、新潟空港（新潟空港出張所）、酒田港（酒田税関支署、山形出張所）を含む。

注2. 「伸率」は対前年伸率を示す。

注3. 「過去最大」は昭和54（1979）年1月以降による。

1. 本資料を他に転載するときは、東京税関の資料による旨を注記して下さい。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関調査部調査統計課まで。(TEL 050-5533-6995)
3. 東京税関ホームページ <http://www.customs.go.jp/tokyo/>

●東京税関管内 令和5年12月速報

【主要輸出品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主要品目1	半導体等製造装置	1,925	11.6	8.6
主要品目2	科学光学機器	1,055	13.5	4.7
主要品目3	電気計測機器	701	6.7	3.1

【主要増減品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増加1位	半導体等製造装置	1,925	11.6	8.6	中国
増加2位	科学光学機器	1,055	13.5	4.7	米国
増加3位	医薬品	445	37.1	2.0	スイス
減少1位	無機化合物	266	-25.7	1.2	インド

【主要国・地域別】	輸出額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目
対米国	4,320	2か月連続の増加	7.4	自動車の部分品
対EU(注3)	2,156	2か月ぶりに増加	8.4	有機化合物
対アジア	13,672	10か月ぶりに増加	3.1	
対中国(注4)	6,944	2か月ぶりに増加	16.6	半導体等製造装置
対ASEAN(注5)	3,055	9か月連続の減少	-7.9	無機化合物

【主要輸入品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主要品目1	IC	2,925	19.7	9.2
主要品目2	通信機	2,807	16.8	8.8
主要品目3	医薬品	2,512	-31.9	7.9

【主要増減品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増加1位	航空機類	687	417.3	2.2	フランス
増加2位	IC	2,925	19.7	9.2	台湾
増加3位	通信機	2,807	16.8	8.8	中国
減少1位	医薬品	2,512	-31.9	7.9	スペイン

【主要国・地域別】	輸入額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目	輸出入差引額(億円)
対米国	4,689	6か月連続の減少	-0.4	医薬品	-369
対EU(注3)	5,202	4か月連続の減少	-7.7	医薬品	-3,046
対アジア	17,746	9か月ぶりに増加	6.4		-4,075
対中国(注4)	9,244	3か月連続の増加	4.9	通信機	-2,299
対ASEAN(注5)	4,452	6か月ぶりに増加	2.6	鉱物性燃料	-1,397

●東京港 令和5年12月速報

【主要輸出品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主要品目1	自動車の部分品	382	28.9	5.2
主要品目2	半導体等製造装置	338	-24.6	4.6
主要品目3	プラスチック	321	-2.8	4.4

【主要増減品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増加1位	自動車の部分品	382	28.9	5.2	米国
増加2位	科学光学機器	235	37.4	3.2	米国
増加3位	金属鉱・くず	66	72.8	0.9	ベトナム
減少1位	半導体等製造装置	338	-24.6	4.6	台湾

【主要国・地域別】	輸出額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目
対米国	1,924	4か月連続の増加	8.3	自動車の部分品
対EU(注3)	914	2か月ぶりに増加	16.3	科学光学機器
対アジア	3,709	10か月連続の減少	-3.8	
対中国(注4)	1,755	14か月ぶりに増加	3.8	半導体等製造装置
対ASEAN(注5)	1,083	6か月連続の減少	-7.2	電算機類の部分品

【主要輸入品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主要品目1	電算機類	830	1.1	6.5
主要品目2	衣類・同附属品	809	-5.1	6.4
主要品目3	魚介類・同調製品	561	-13.7	4.4

【主要増減品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
減少1位	がん具類	245	-42.8	1.9	中国
減少2位	IC	324	-25.0	2.5	台湾
減少3位	魚介類・同調製品	561	-13.7	4.4	チリ
増加1位	非鉄金属	230	66.9	1.8	韓国

【主要国・地域別】	輸入額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目	輸出入差引額(億円)
対米国	1,314	7か月ぶりに増加	7.5	原動機	610
対EU(注3)	1,457	3か月ぶりに減少	-15.5	医薬品	-543
対アジア	8,798	7か月連続の減少	-1.7		-5,089
対中国(注4)	5,103	3か月連続の減少	-2.5	がん具類	-3,348
対ASEAN(注5)	2,280	6か月連続の減少	-1.2	電算機類	-1,196

●成田空港 令和5年12月速報

【主要輸出品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主要品目1	半導体等製造装置	1,579	24.4	11.0
主要品目2	科学光学機器	792	7.8	5.5
主要品目3	IC	557	6.1	3.9

【主要増減品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増加1位	半導体等製造装置	1,579	24.4	11.0	中国
増加2位	医薬品	364	46.7	2.5	スイス
増加3位	内燃機関	278	52.5	1.9	米国
減少1位	無機化合物	183	-29.9	1.3	インド

【主要国・地域別】	輸出額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目
対米国	2,287	2か月連続の増加	9.4	内燃機関
対E U(注3)	1,190	4か月連続の増加	1.6	有機化合物
対アジア	9,564	9か月ぶりに増加	5.5	半導体等製造装置
対中国(注4)	5,002	4か月連続の増加	21.6	
対ASEAN(注5)	1,851	12か月連続の減少	-9.2	

【主要輸入品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主要品目1	IC	2,584	30.3	15.6
主要品目2	通信機	2,460	17.4	14.8
主要品目3	医薬品	2,191	-36.5	13.2

【主要増減品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
減少1位	医薬品	2,191	-36.5	13.2	スペイン
減少2位	白金族の金属	540	-44.9	3.3	南アフリカ共和国
減少3位	原動機	646	-4.4	3.9	米国
増加1位	IC	2,584	30.3	15.6	台湾

【主要国・地域別】	輸入額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目	輸出入差引額(億円)
対米国	3,025	6か月連続の減少	-11.3	医薬品	-738
対E U(注3)	2,970	4か月連続の減少	-17.6	医薬品	-1,780
対アジア	8,329	2か月連続の増加	13.2	通信機	1,235
対中国(注4)	3,848	3か月連続の増加	14.1		
対ASEAN(注5)	1,907	3か月連続の減少	-0.3		

●羽田空港 令和5年12月速報

【主要輸出品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主要品目1	再輸出品	272	-1.6	69.0
主要品目2	科学光学機器	27	16.6	6.8
主要品目3	医薬品	21	91.2	5.3

【主要増減品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増加1位	医薬品	21	91.2	5.3	ドイツ
増加2位	有機化合物	5	477.3	1.3	米国
増加3位	科学光学機器	27	16.6	6.8	中国
減少1位	IC	9	-35.6	2.3	中国

【主要国・地域別】	輸出額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目
対米国	100	2か月連続の減少	-32.3	再輸出品
対E U(注3)	40	6か月連続の増加	112.3	再輸出品
対アジア	235	33か月連続の増加	18.1	再輸出品
対中国(注4)	141	34か月連続の増加	21.5	
対ASEAN(注5)	69	2か月ぶりに増加	11.5	

【主要輸入品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主要品目1	航空機類	559	51.6倍	40.6
主要品目2	バッグ類	175	61.9	12.7
主要品目3	科学光学機器	109	41.1	7.9

【主要増減品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増加1位	航空機類	559	51.6倍	40.6	フランス
増加2位	バッグ類	175	61.9	12.7	イタリア
増加3位	原動機	61	206.6	4.4	英国
減少1位	IC	17	-42.7	1.2	シンガポール

【主要国・地域別】	輸入額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目	輸出入差引額(億円)
対米国	317	3か月ぶりに増加	382.0	航空機類	-217
対E U(注3)	765	8か月連続の増加	154.2	航空機類	-724
対アジア	166	19か月連続の増加	101.3	通信機	69
対中国(注4)	80	11か月連続の増加	26.1倍		
対ASEAN(注5)	77	19か月連続の増加	7.7		

(注) 1 輸出はFOB価格、輸入はCIF価格による。

2 伸率及び増加・減少は全て対前年比による。

3 対EUの貿易額は27カ国の実績。

4 対中国の貿易額には対香港及び対マカオの貿易額を含む。

5 対ASEANの貿易額は10カ国の実績。

6 本発表における港別の貿易額は、東京税関管内の次の官署が管轄する区域に設置された貨物の通関額によるものである。

東京港(東京税関本関、東京外郵出張所、立川出張所、前橋出張所、大井出張所)、

成田空港(東京航空貨物出張所、成田航空貨物出張所)、

羽田空港(羽田税関支署)、

管内には、東京港、成田空港、羽田空港に加えて、新潟港(新潟税関支署、東港出張所)、直江津港(直江津出張所)、柏崎港(柏崎出張所)、新潟空港(新潟空港出張所)、酒田港(酒田税関支署、山形出張所)を含む。